

1. 助成金を含めた現在の給食食材料費の算出について

現在、物価上昇に伴い食材料費が高騰したため、保護者負担を増加させないために国の交付金を活用し、市から学校給食会計に対して助成金を交付しています。

助成金の金額については、以下のように算出しています。

- ① 令和3年度に学校給食会計から支出した給食食材料費を生鮮食料品（肉・魚・野菜）、パン、牛乳、米類、その他（調味料・乾物など）（以下「生鮮食品等」という。）に分け、それぞれの支出金額を算出します。
- ② 令和3年度と令和5年度の生鮮食料品等それぞれの食材料供給契約の契約金額を比較し、それぞれの増加率を算出します。
 なお、増加率は生鮮食料品が 28.5%、パン 8.5%、牛乳 10.41%、米類 30.33%、その他 14.7%それぞれ上昇しており、全体の合計で 19.08%上昇しています。
- ③ 令和3年度の生鮮食料品等の支出額にそれぞれの増加率を乗算し、令和5年度に必要となる給食食材料費の支出想定額を算定します。
- ④ 生鮮食料品等のそれぞれの令和5年度の支出想定額から令和3年度の支出額の差額を合計したものが食材料費の上昇額相当分として市からの助成金額としています。
- ⑤ 児童生徒一人当たりの助成金の金額については、児童生徒の人数を現在の学年ごとの給食費の割合に合わせて小学校中学年（3、4年生）の人数に換算し、小学校中学年一人当たりの助成金額を算出します。他の学年については学年ごとの給食費の割合で算出しています。
- ⑥ 小・中学校の教職員及び学校給食センターに勤務する職員については、国の交付金の対象外となることから、助成金相当額を調整金として徴収しています。小学校教職員は小学校高学年の助成金相当額、中学校教職員及び給食センター職員は中学生の助成金相当額をそれぞれ徴収しております。

（参考）現在の給食食材料費

（単位：円）

区 分		1食あたり単価			月 額		
		学校給食費	助成金	合計	学校給食費	助成金	合計
小学生	1年生	210	40	250	3,560	670	4,230
	2年生				3,670	700	4,370
	中学年	226	43	269	3,950	750	4,700
	高学年	245	46	291	4,280	800	5,080
中学生		272	51	323	4,580	860	5,440

※月額は一食単価に小学校1年生は年間給食日数の186日、小学校2年生から6年生は192日、中学生は185日に乗じて、11回（月）で除した数値の端数を整理したものです。

2. 当市の給食費改定状況

年度	改定理由
平成 6 年度	冷夏の影響による野菜類高騰及びパン類加工賃等の値上げ
平成 9 年度	消費税増税（3%→5%）給食費改定なし(翌年度改定)
平成10年度	学校給食用米穀の値引き措置廃止及び消費税増税
平成14年度	週5日制導入に伴う小学校給食日数の増（単価変更なし）
平成21年度	学習指導要領改定に伴う給食日数増加（単価変更なし）
平成23年度	学習指導要領改定に伴う給食日数増加（単価変更なし）
平成26年度	消費税増税（5%→8%）

3. 当市の現状

当市の学校給食費は、一食単価で比較した場合、小学校低学年は多摩26市中高い順で26番目と最も低い金額となっており、中学年と高学年は26市中25番目、中学生は26市中24番目と低い金額となっております。

また、助成金込みの学校給食食材料費で見た場合、小学校低学年は9番目、中学年は8番目、高学年は3番目、中学生は7番目の金額となり、これは他市の助成金等について反映していない場合の順位となります。